

夏の調理家電企画の好評にこたえ、家電コーディネーターの戸井田園子さんが再登場！寒い季節を楽しく快適に過ごすための厳選したおすすめ家電をご紹介します。

寒い日に使いたい！冬を快適な季節に変える「おすすめ家電」

1 ドウシシャ 「焼き芋メーカー Bake Free」

実勢価格：¥9,590（税込）

「こんな欲しかった！」の声が続出。自宅で手軽にホクホクの美味しい焼き芋を堪能。



おすすめ POINT

さつまいもが入る形状の凹みが2本分あるのがインパクト大！凹みに食材を入れて蓋を開け、約100~200度で全方向から包み込むように加熱する仕組みで、焼き芋は約40分間で完成。しっかり火が通り、かつジューシーな焼き上がりは格別の美味しさです。同梱の平面プレートを使用すればホットサンドや肉、魚のグリルなども調理可能（12種類のレシピも付属）。切タイマーがないなどアナログな部分もありますが、見て、食べて、楽しい家電です。

3 ブルーエア 「Blue Pure 411 Particle Carbon」

実勢価格：¥19,440（税込）

360度吸引で置き場所を選ばない空気清浄機。フィルター交換式で面倒なお手入れ不要。



おすすめ POINT

高性能で知られる空気清浄機「ブルーエア」のお手頃タイプが登場！大きなファンでしっかり吸って、フィルターで空気の汚れを濾すというシンプルな構造で、最大13畳の広さまでカバー可能（おすすめは8~10畳くらい）。約6か月ごとにメインフィルターを交換すれば、新品同様の性能に。メインフィルターに被せるプレフィルターは3色展開なので、季節に合わせてカラーを変えるのも楽しそうです。

2 ブルーノ 「グリルポット」

定価：¥12,960（税込）

お洒落なデザインタイプの電気グリル鍋のなかで、唯一の直火対応製品。



おすすめ POINT

卓上で鍋ができるグリル鍋のなかでも、最近ブルーノ「グリルポット」のようなホーローライクな仕上げで、食卓に置いて絵になるデザインが人気です。2Lの容量に電熱部分まで含めてスッキリとしたコンパクトデザインで、無駄なスペースをとりません。煮る・焼く・蒸す・揚げるの4役をこなし、直火にもかけられる優れもの。鍋の内側はセラミックコートで傷がつきにくく、お手入れも簡単です。

5 日立 ふとん乾燥機 「アットドライ」

実勢価格：¥19,440（税込）

床敷きの布団にもベッドにも使いやすい、縦・横置き可能なキューブ型の布団乾燥機。



おすすめ POINT

最近の布団乾燥機は布団の間にシートを数かず、ホースを差し込む「シートレスタイプ」が主流です。日立はより広範囲に温風が届くフォーク型アタッチメントが特徴的。本体は縦にも横にも置けるキューブ型で使い勝手がよく、ホースとアタッチメントが収まるデザインも人気の理由。寝室が寒いけどエアコンでは乾燥が気になるときは「布団あたたためモード」を使えば、布団はポカポカ。経済的かつ乾燥も防いで一石二鳥です。

4 ダイニチ 「ハイブリッド加湿器 RX シリーズ」

実勢価格：¥16,000 前後~¥24,600 前後（税込）

4年連続で加湿器シェアナンバー1の実力派。3年の長期保証も安心ポイントです。



お部屋のサイズに合わせて4サイズから選べます。写真はHD-RX517。

おすすめ POINT

水を含むフィルターに風を当てて蒸発を促し加湿する「気化式」と、ヒーターで加湿をアシストする「温風気化式」を組み合わせた「ハイブリッド式」を採用。加湿の立ち上がりが遅い「気化式」の弱点を、ヒーター搭載により温風にすることで克服。設定湿度になるとヒーターを切って省エネの気化式運転に切り替わり、省エネと快適性の両立を実現しています。運転音の静かさ、すっきりとしたデザインも魅力です。

6 アテックス 「ルルド あったかフットモイスター」

希望小売価格：¥21,600（税込）



足湯気分が気軽に楽しめる温ミストフットケア。冷え性の方におすすめ。



おすすめ POINT

寒い冬には足湯が人気ですが、自宅では準備や後始末が大変。そんな不満を解消してくれるのが、蒸気で足全体を包んでくれる、この製品。水30mlをセットしてスイッチを入れるだけで、あっと言う間に足まわりが蒸気に包まれ、ポカポカに。レッグカバー内のファンで蒸気が循環し、温かさもずっと持続します。アロマも使えて癒し効果も。レッグカバーや本体足置き場のプレートは外して洗えるのでお手入れも簡単です。

皆さんのインテリアやリフォームに関する質問や悩み相談を大募集します。

【『OM FIND』・リフォーム質問お悩み相談】係まで ※リフォーム質問・お悩み相談の応募先は14ページに掲載されています



監修：戸井田 園子（といだ そのこ）
大学で住居学を専攻。卒業後は大手プレハブメーカーにてインテリアコーディネーターや商品企画を担当し、総合的に商品の優劣を見極める技術を習得。退職後、インテリア&家電コーディネーターとして独立。消費者目線で家電を調査・研究し、様々なメディアで情報発信中。『オレンジページ』（オレンジページ）、『GLOW』（宝島社）などで連載多数。